

アブダビ日本人学校の児童・生徒を対象として、UAEの鷹狩を題材とした文化教育を実施いたしました

一般財団法人 INPEX JODCO 財団（以下、当財団）は、アラブ首長国連邦（以下、UAE）の重要な文化遺産であり、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている鷹狩の体験を通じて、UAEの歴史や文化に対する理解を促進すべく、2023年・24年に引き続きアブダビ日本人学校の児童・生徒による Mohamed Bin Zayed Falconry and Desert Physiognomy School（以下、MBZ 鷹狩学校）への訪問を実施いたしました。なお、本プログラムは UAE における鷹狩文化の保護・推進の役割を担う Emirates Falconers' Club（以下、EFC）の協力のもと行われており、MBZ 鷹狩学校は EFC が主導する鷹狩関連教育の先駆けとなるプロジェクトです。

本プログラムは、2023年9月に締結した当財団と EFC との協業契約※に基づき、アブダビ日本人学校の小・中学生 26 名（うち UAE 国民 12 名）が MBZ 鷹狩学校を訪問し、鷹狩体験を実施したもので、鷹狩文化のみならず、それに付随する UAE 文化を幅広く学ぶ機会となりました。

※2024年3月21日付、当財団のホームページにて公表

(<https://www.inpex-jodco-foundation.com/pdf/202403-1.pdf?001>)

当日は MBZ 鷹狩学校に到着後、UAE の鷹狩文化に関する講義を受けたのち、敷地内の砂漠に出てこの地の植生について見聞きする機会がありました。



鷹狩文化について真剣に学ぶ児童・生徒たちの様子

その後施設に戻り、実際に飼育されているハヤブサ（UAEにおける鷹狩＝Falconryではハヤブサが古くから用いられます）と疑似餌を使った訓練を体験しました。訓練ではハヤブサを放つグループと、疑似餌を操るグループに分かれ、児童・生徒はそれぞれ楽しみながらも真剣に取り組んでいました。



鷹狩に関する説明を受け、実際に訓練を体験する児童・生徒の様子

本プログラムではその他にも、アラブ地域で古くから親しまれるアラビックコーヒー作りを体験したり、昼食時には地域の伝統料理を食べたりと、多種多様な体験が盛り込まれており、参加した生徒からは「砂漠にある多様な植物の特徴や役割を知ることができ、とても勉強になりました。」「お昼に食べたローカル料理がとても美味しく、普段は味わえない新しい風味を楽しむことができました。」等の感想が寄せられるなど、アブダビでの日常生活では触れることが難しい UAE の伝統文化に触れる貴重な機会となりました。



アラビックコーヒー作りの見学と昼食

当財団は、引き続き、UAE と日本の文化の保存・発展及び UAE と日本の文化交流に資する事業の実施を推進してまいります。

以上